

医療介護関係者向け研修について

1 目的

地域の医療・介護関係者及び病院等において、患者自身が受けたい医療・ケア、受けたくない医療・ケアについて考え意思決定することへの支援ができるようになる。

2 令和2年度 医療介護関係者向け研修の概要

(1) 実施目標

A C Pの基礎知識を身に着けるとともに、複数の事例からA C Pのプロセスを理解し、実際の現場での患者や家族への支援につなげられるようにする。

(2) 対象者

- ・病院の医療・介護関係者
- ・地域の医療・介護関係者

(3) 開催規模

- ・募集規模 200名程度
- ・開催回数 1回 令和3年2月頃

3 研修内容について

(1) 研修の実施方法

○ 令和2年度の実施は、W e b開催とし実施する。

- ・講義を録画し、動画をオンデマンド配信する。
- ・受講者には、講義動画を視聴後にアンケートを提出してもらい受講を確認する。

※今年度については、グループワークは実施せずシンポジウム形式等に対応する。

(2) 研修カリキュラム

【カリキュラム構成】

・第1部 A C Pの基礎知識について

ねらい：A C Pの基礎知識を身に付けることができる。

・第2部 現場におけるA C Pの実践に向けて

ねらい：状況別や病状別の具体的なA C Pのプロセスを知り、実際の現場での実践に生かすことができる。

【研修カリキュラムの具体的な作成方法】

- ・神戸大学医学部が実施した「令和元年度 患者の意向を尊重した意思決定のための研修会 相談員研修会」の研修プログラムをベースに考えていく。
- ・その他、厚生労働省が作成した「認知症の人日常生活・社会における意思決定支援ガイドラン」や「障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン」等の内容を参照して、必要な事項を検討し、盛り込んでいく。

○ カリキュラム骨子(案)

	主な内容	ねらい
第1部 ACPの基礎知識について	① ACP とは何か	ACP の定義やACPが展開されるようになるまでの変遷を紹介し、ACPの特徴について知ってもらう。
	② 「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」について	・「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」の平成30年改訂のポイントやガイドライン骨子について理解してもらう。 ・意思決定支援のプロセスにおいて、ACPはSTEP2、STEP3のプロセスをより豊かにするものであることを知ってもらう。
	③ 意思決定に関連する法的な知識や臨床倫理について	ACPを実践するに当たって知っておくべき法的な動向や臨床倫理を理解してもらう。
第2部 現場におけるACPの実践に向けて	① ACPの進め方	・ACPの実際の進め方や始めるに当たって注意が必要なことについて理解してもらう。
	② 状況別や病状別の具体的なACPのプロセスの紹介	・状況別（地域、病院等）や病状別にACPの特徴と意思決定支援のポイントについて理解してもらう。
	③ ACPの事例紹介	・ACPの事例を紹介し、実際に取り組んでいく際の難しい点や課題について解説し、その対応方法を提案することで、現場でのACPの実践に活かしてもらう。

※ロールプレイについては、来年度以降に検討していき、今年度は事例等により具体的なACPの実践方法を紹介することで現場でのACPの実践に活かしてもらう内容とする。

4 第1回の検討事項

(1) 研修カリキュラムに関する意見交換

- ・研修カリキュラム骨子の構成について、修正や追加すべき内容がないか
- ・各内容について想定される講師について

(2) 紹介事例に関する意見交換

- ・資料9「ACPに関する事例について(案)」において検討する